

# TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う  
(支援する)」という意味です。

平成24年12月7日 第67号  
浜田市農林業支援センター

## はじめに

11月18日に弥栄自治区のブランド米産地協議会による生産者、販売者、消費者による交流事業が行われました。意見交換会では、消費者から安全・安心で顔の見える食材の提供を求める意見があり、今後は安心して購入できる仕組みづくりが必要であると締めくくられました。こうした取り組みが各地域で広がることを望みます。

今年も後1ヶ月余りとなりました。健康には充分気をつけてよい年を迎えましょう。

(浜田市農林業支援センター長 大谷 十三一)

## 1. 各支援チームからの話題

### ★ 新規就農者支援チーム (担当: <sup>いなだ</sup>稲田・<sup>なかた</sup>中田)

## がんばる新規就農者!



弥栄町でリンドウを栽培している森田直喜さんは、昨年就農された新規就農者です。

この度、今年の生産が終了したことを受け、検討会を開催しました。昨年収支計画を作成しており、今年の実績と比較し、見えてきた課題などを整理する場となりました。

森田さんは「これからは労働力の確保と、販路の確立」を課題とし、この夏の経験を来シーズン以降に活かしていきたいと話されました。

当支援センターは今後も引き続き関係機関と一体となり、新規就農者の方の就農前後の検討会を開催し、早期に営農基盤が確立できるよう支援していきます。

### ● 認定農業者支援チーム (担当: <sup>なかた</sup>中田・<sup>いなだ</sup>稲田)

## 中間年調査を実施しています

認定農業者制度とは、意欲ある農業者が作成した「農業経営改善計画」を、一定の基準のもと市町村が認定し、その達成に向けた取組を関係機関・団体が支援する仕組みですが、当支援センターでは、5年間の認定期間の中間年である3年目に達成状況の聞き取りを実施しています。

今年度は、平成21年度に認定を受けられた8経営体(農業者)へ、主に市・県の担当者が訪問し、現況を伺いながら、それぞれの成果や課題を共有することで、より効果的な支援に繋がっていきたくて考えております。

今年度対象となる皆様に調査へのご協力をお願いします。



### ■ 集落営農組織支援チーム (担当: <sup>たばら</sup>田原・<sup>かまはら</sup>鎌原)

## 集落営農法人ステップアップ研修成果発表会



12月3日、大田市のプラザホテルさんべにおいて、集落営農法人ステップアップ研修成果発表会が開催されました。この発表会は、平成23年度に県内の集落営農法人10組織が全3回にわたって研修会に参加し、各自が課題解決に取り組んできた成果を報告するものです。

参加した法人の多くは人材不足の解消を課題に掲げており、地区外からの新規人材の獲得、組織内での作業分担の見直しなどに取り組んだ成果を報告されました。

昨年度からアドバイザーを務められる神戸大学の伊庭治彦准教授は、各組織の取組を高く評価し、集落営農組織の発展に向けた取組みとして、旧来の伝統の復活、業務内容の文書化、住民参加型活動の実施などを推奨しておられました。

参加した法人の方々は熱心に話を聞いて質疑応答を行い、有意義な会となりました。

## 2. やさか共同農場『日本農林漁業振興会会長賞』受賞！



11月23日明治神宮会館において「平成24年度（第51回）農林水産祭式典」が行われました。そこでは農林水産業者の最高の荣誉である天皇杯、内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会会長賞の表彰がありました。この三賞は、農産、園芸、畜産、蚕糸・地域特産、林産、水産、むらづくりの7部門の農林水産大臣賞受賞者476点の中から審査されます。

浜田市弥栄町の(有)やさか共同農場（佐藤隆代表）は、先に行われました第61回全国農業コンクール（毎日新聞社主催）においてグランプリに輝き、この度の農林水産祭では「日本農林漁業振興会会長賞」を受賞されました。

やさか共同農場は、味噌加工を通じた地域活性化、有機農業への挑戦、農業体験などの交流事業などが高く評価され、今回の受賞となりました。また、後継者育成として、これまでも多くの方を農業研修生として受入れてこられました。

今後とも地域農業発展を念頭に取り組みを進めていかれるとのこと、ますますのご活躍を期待しています。



## 3. 大地の恵み！各地で農林産物品評会開催



11月上旬、浜田市の各自治区で毎年恒例の産業祭が開催されました。また、会場では浜田市内で生産された農林産物の展示即売会が行われ、農家の方々が丹精込めた見事な品々が注目を集めていました。

一部地域では一時的に天候が荒れ模様となったところもありましたが、概ね好天に恵まれ、みのりの

秋と地域の元気を感じられる、楽しい産業祭となりました。



## 4. 西部地区子牛共進会 浜田の牛が最優秀賞！



11月20日、益田市の西部地区家畜市場にて西部地区子牛共進会が開催され、県西部の4市町から雌子牛19頭が出品され、体型や発育状況を競いました。

浜田市からは6頭の子牛が出品され、弥栄町の認定農業者佐々木祥二さんのしずか8の4号が最優秀賞に輝きました。

畜産農家を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いている中、出品されたどの子牛も素晴らしく、生産者の方々の日々の管理が徹底されていることが感じられました。

良いお年をお迎えください

- 当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様へ配信しています。
- ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

### ■ 発刊元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町 3741 (JA いわみ中央本所分館 2階)

TEL : 0855-22-3500 FAX : 0855-22-3477 E-mail : n-shien@city.hamada.shimane.jp

